

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年7月7日 (2016.7.7)

【公開番号】特開2015-15573(P2015-15573A)

【公開日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2013-140605(P2013-140605)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月24日 (2016.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

前記課題を解決するため、本発明の撮像装置にあっては、動画撮影に際して動画像を記録する間に、被写体の所定の動作であって、時間的に連続する一連の動作を検出する検出手段と、前記検出手段による前記動作の検出に応じて所定の撮影制御を行う撮影制御手段と、前記動画像に対し、前記検出手段により前記動作が検出されている検出期間を含む特定期間を対象として編集処理を行う編集手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画撮影に際して動画像を記録する間に、被写体の所定の動作であって、時間的に連続する一連の動作を検出する検出手段と、

前記検出手段による前記動作の検出に応じて所定の撮影制御を行う撮影制御手段と、

前記動画像に対し、前記検出手段により前記動作が検出されている検出期間を含む特定期間を対象として編集処理を行う編集手段と

を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記編集手段は、前記動画像に対し、前記動作が検出されている検出期間に、前記検出期間の直前の直前期間、又は前記検出期間の直後の直後期間の少なくともいずれかを加えた期間を前記特定期間として編集処理を行うことを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記検出手段は、前記被写体が前記動作に先行する準備動作を開始したと判断できる準

備開始時点、又は前記被写体が前記動作の完了後に前記準備動作の開始直前の状態に復帰したと判断できる復帰時点の少なくともいづれかをさらに検出し、

前記編集手段は、前記準備開始時点から、前記検出手段により検出された前記動作の開始時点までの期間を前記直前期間とし、かつ前記動作の完了時点から、前記検出手段により検出された前記復帰時点までの期間を前記直後期間として、前記動画像に対し、前記動作が検出されている検出期間に、前記直前期間又は前記直後期間の少なくともいづれかを加えた期間を前記特定期間として編集処理を行う

ことを特徴とする請求項 2 記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記直前期間及び前記直後期間は、それぞれが予め決められている時間であることを特徴とする請求項 2 記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記編集手段による編集処理は、前記動画像からの、前記特定期間の削除であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記編集手段による編集処理は、前記特定期間に対するエフェクト処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記撮影制御手段による撮影制御は、動画撮影の終了、動画撮影の一時停止、及び撮影条件の変更のうち少なくともいづれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記被写体の所定の動作には、前記検出手段による前記動作の検出に応じた前記撮影制御手段による撮影処理を禁止する状態への移行、又は撮影処理を禁止する状態から許可する状態への移行のうち少なくともいづれかを示す動作が含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

動画撮影に際して動画像を記録する間に、被写体の所定の動作であって、時間的に連続する一連の動作を検出する検出処理と、

前記検出処理による前記動作の検出に応じて所定の撮影制御を行う撮影制御処理と、

前記動画像に対し、前記検出処理により前記動作が検出されている検出期間を含む特定期間を対象として編集処理を行う編集処理と

を含むことを特徴とする動画撮影方法。

【請求項 10】

撮像装置が有するコンピュータに、

動画撮影に際して動画像を記録する間に、被写体の所定の動作であって、時間的に連続する一連の動作を検出する検出機能と、

前記検出機能による前記動作の検出に応じて所定の撮影制御を行う撮影制御機能と、

前記動画像に対し、前記検出機能により前記動作が検出されている検出期間を含む特定期間を対象として編集処理を行う編集機能と

を実現させるためのプログラム。